



森林内のインキュベーションセンターでのオフサイトミーティング

森林内に宿泊可能なガレージ型インキュベーションセンターを設置。従業員同士のディスカッション、ワーケーション、人材育成、顧客との会議等に利用。また、新人研修で山歩きや焚火のプログラムを実施。

導入の経緯と決め手

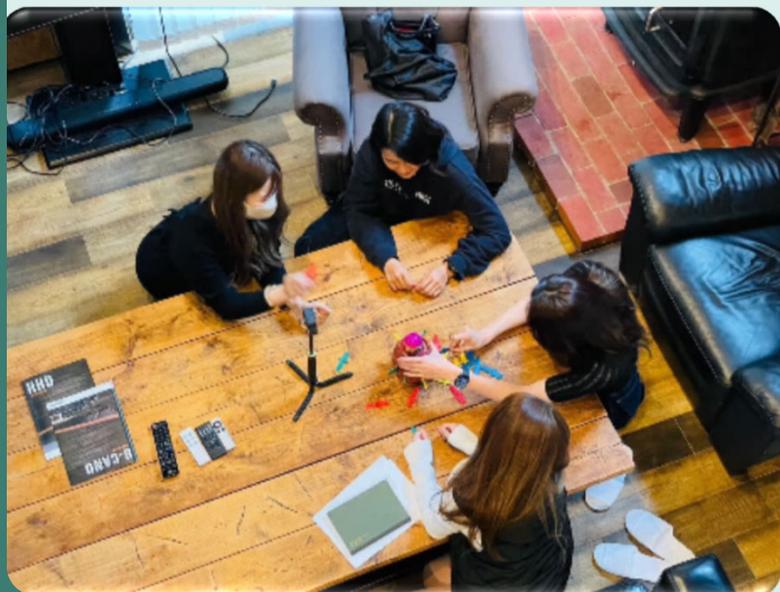
創業者が持っていた土地を有効利用し、自社がガレージを作る会社であることから、ガレージ型のインキュベーションセンターを設置。何かを生み出す場所を作りたいという思いから導入。

取組内容とその効果

<実施地域：長野県軽井沢町>

社員と顧客が共に過ごし、関係性を深める場としてインキュベーションセンターを活用。また、他社の新入社員プログラムの受入地として、焚火や山歩きのプログラムを実施。

これまでに300～500名が利用し、社員間の絆づくりや顧客との関係構築、採用面での企業の魅力向上などの効果が見られる。



従業員の声

みんなでご飯を作ったりして、暖炉の火を眺めながら語り、寝食を共にすることで、圧倒的に仲良くなれる。東京のオフィスでは出てこないアイデアや、会話が生まれイノベーションが起こる。

役割分担と参加促進に向けた取組

人との接点を持つことを重視。遠方の社員や家庭事情で参加困難な人に配慮し、全国に同様の場所を広げることを検討している。

■プログラム構築：
自社内で企画運営

■導入形態：
オフサイトミーティング

■対象者：
全社員が対象

■費用負担：
社員の利用は無料

目的

- チームビルディング・社内コミュニケーション強化
- 経営・プロジェクトに新たな視点をもたらす

結果（企業の声）

- 遊び心のある会社だと思ってもらえて、顧客とも距離が縮まり、よい関係が築ける
- 企業の魅力につながっている